

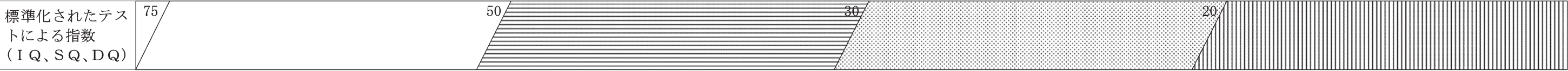
14 知的障害者の知的障害の程度

1 知的障害児者 長野県における療育手帳の障害の程度の目安と表記

療育手帳区分		身体障害者等級	
程度	IQ の目安	1・2・3 級	4・5・6 級
最重度	IQ20 以下	A1 障害児福祉手当該当程度	
重度	IQ21～35	A1	
中度	IQ36～50	A2	B1
軽度	IQ51～75	B2	

2 発達障害の程度の指標（厚生省の知的障害児者実態調査（1975）における知的障害の程度に関する判定資料）

年齢	段階	軽	度	中	度	重	度	最	重	度
5	歳	・ 日常会話はどうかできる。 ・ 数の理解は少し遅れている。 ・ 運動機能の目立った遅れはみられない。 ・ 身のまわりの始末は大体できるが不完全。		・ 言語による意志表示はいくらかできる。 ・ 数の理解に乏しい。 ・ 運動機能の遅れが目立つ。 ・ 身のまわりの始末は部分的に可能。 ・ 集団遊びは困難。		・ 言葉がごく少なく意志の表示は身ぶりなどで示す。 ・ ある程度の感情表現はできる（笑ったり、怒ったり等）。 ・ 運動機能の発達の遅れが著しい。 ・ 身のまわりの始末はほとんどできない。 ・ 集団遊びはできない。		・ 言語不能。 ・ 最小限の感情表示（快、不快等） ・ 歩行が不能又はそれに近い。 ・ 食事、衣類の着脱などはまったくできない。		
以下										
6	歳	・ 普通の学級における学習活動についていくことは難しい。 ・ 身辺処理は大体できる。 ・ 比較的遠距離でも1人で通学できる。		・ 日常会話はある程度可能。 ・ 数の理解が身につき始める。 ・ 身辺処理は大体できるが不完全。 ・ ゲーム遊びなどの集団行動はある程度可能。		・ 言語による意志表示はある程度可能。 ・ 読み書きの学習は困難である。 ・ 数の理解に乏しい。 ・ 身近なものの認知や区別はできる。 ・ 身辺処理は部分的に可能。 ・ 身近な人と遊ぶことはできるが長続きしない。 ・ ごく簡単なお手伝いはできる。		・ 言語は数語のみ。 ・ 数はほとんど理解できない。 ・ 食事、衣服の着脱など1人ではほとんどできない。 ・ 1人遊びが多い。		
11	歳									
12	歳	・ 小学校3～4年生程度の学力にとどまる。 ・ 抽象的施行や合理的判断に欠ける。 ・ 身辺処理は普通児並にできる。 ・ 基本的な作業訓練は可能である。		・ 小学校2～3年生程度の学力にとどまる。 ・ 身辺処理は大体できる。 ・ 簡単なゲームのきまりを理解する。 ・ 単純な作業に参加できる。						
17	歳									
18	歳	・ 小学校5～6年生程度の学力にとどまる。 ・ 抽象的思考や合理的判断に乏しい。 ・ 事態の変化に適応する能力は弱い。 ・ 職業生活はほぼ可能。		・ 簡単な読み書きや金銭の計算ならばできる。 ・ 適切な指導のもとで対人関係や集団参加がある程度可能。 ・ 社会的なきまりはある程度理解できる。 ・ 単純作業に従事できる。		・ 日常会話はある程度できる。 ・ 数量処理は困難。 ・ 身辺処理は大体できる。 ・ 単純作業にある程度従事できる。		・ 会話は困難。 ・ 文字の読み書きはできない。 ・ 数の理解はほとんどできない。 ・ 身辺処理はほとんど不可能。 ・ 作業能力はほとんどない。		
以上										



④ 1、「5歳以下」の欄は、おおむね4～5歳児の発達障害を示したものであり、それ以下の年齢についてはこれと年齢相応の発達の程度を参考にして判定すること。
2、「標準化されたテストによる指数」欄の数と斜線は「おおむね」の意味をもつ。